

町民アンケート結果等から見る福崎町の交通現状と課題

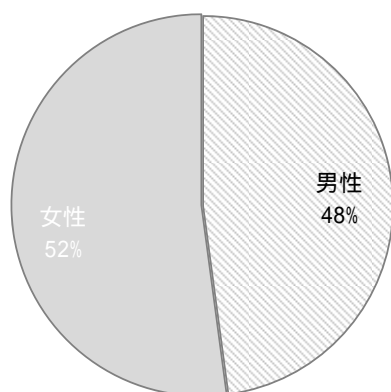
1. アンケート調査概要

配布日	平成22年9月16日	
回答期限日	平成22年9月30日	
配布・回収状況	方法	自治会による配布・回収
	配布数	6,029世帯
	回収数	4,246世帯
	世帯回収率	70%
回答人数	10,610人（1世帯あたり約2.5人）	
15歳以上の福崎町民 （平成22年7月現在）	16,910人 （15歳未満も含めると19,733人）	
回答率	63%	

2. 回答者の属性

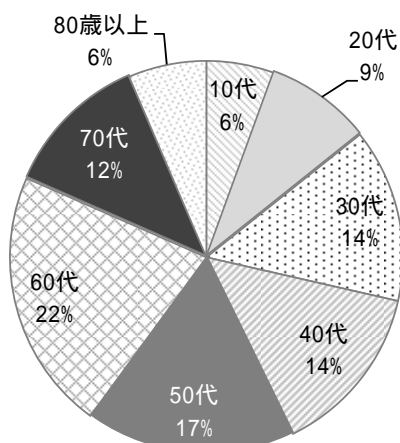
- ・町民アンケート回答者の性別は、男性、女性でほぼ半数ずつとなっています。
- ・年齢は、60代、50代、40代及び30代の順に多く、50代以上で約6割を占めています。
- ・職業は、就業者が約5割を占めていますが、主婦、無職も約2割と多くなっています。

<性別>



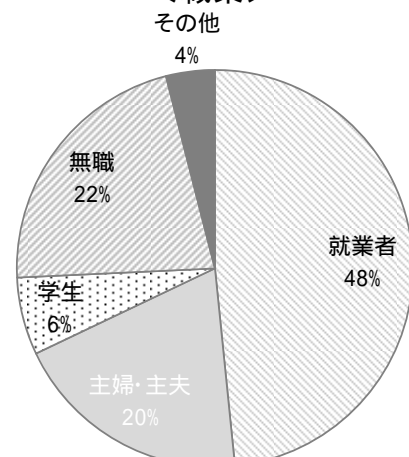
計：10,492票
※不明除く

<年齢>



計：10,537票
※不明除く

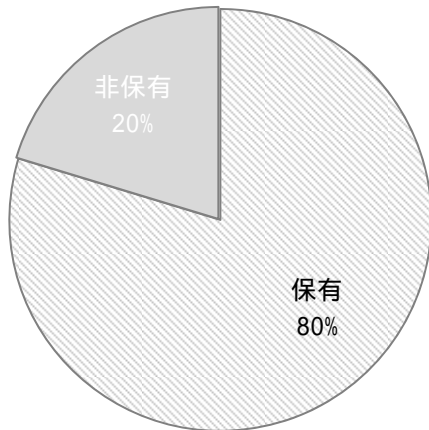
<職業>



計：10,112票
※不明除く

- ・クルマの運転免許は、8割の人が保有しています。
- ・クルマは9割以上の世帯で保有しており、平均保有台数は2.2台／世帯となっています。

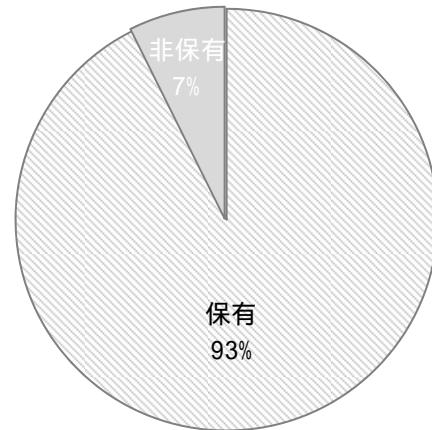
＜クルマの運転免許＞



計：9,991 票
※不明除く

＜クルマの保有状況＞

平均保有台数：2.2台／世帯



計：3,858 票
※不明除く

3. 町民全体の移動を再現するための係数（拡大係数）の設定

(1) 年齢別人口による拡大

年齢別回答者数と福崎町の自治会別年齢別人口を用いて、人口拡大係数の設定を行いました。（平均拡大係数：1.59）

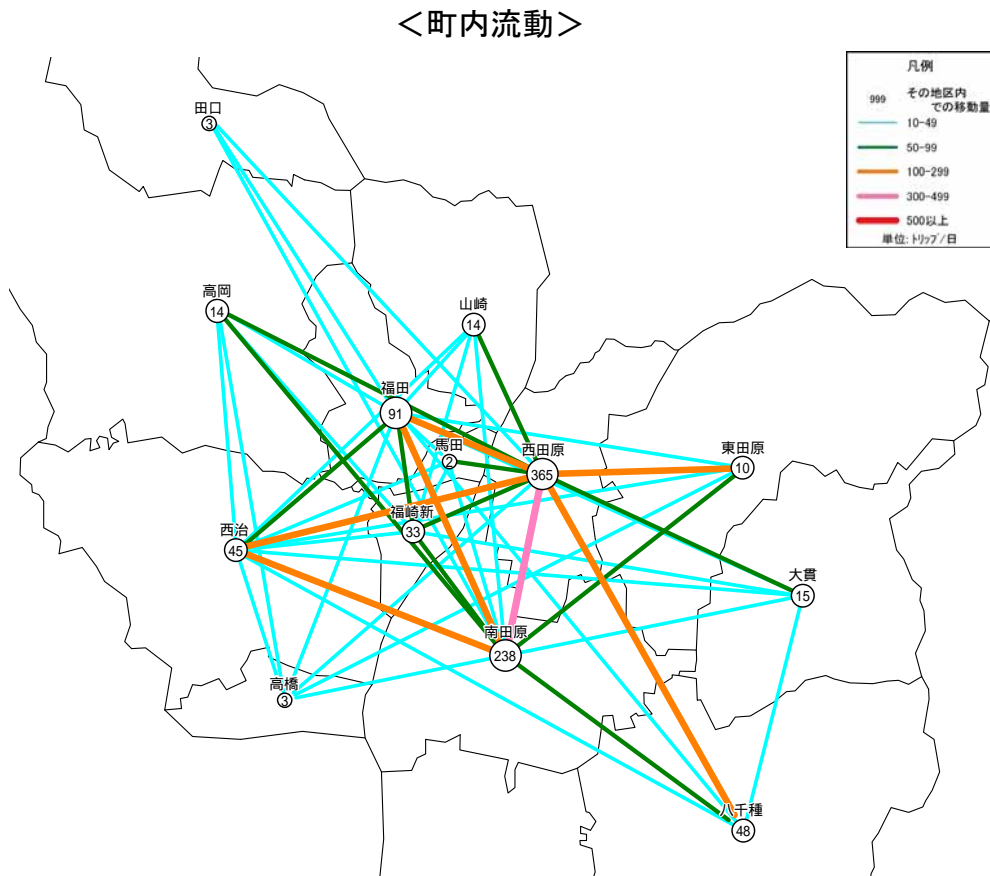
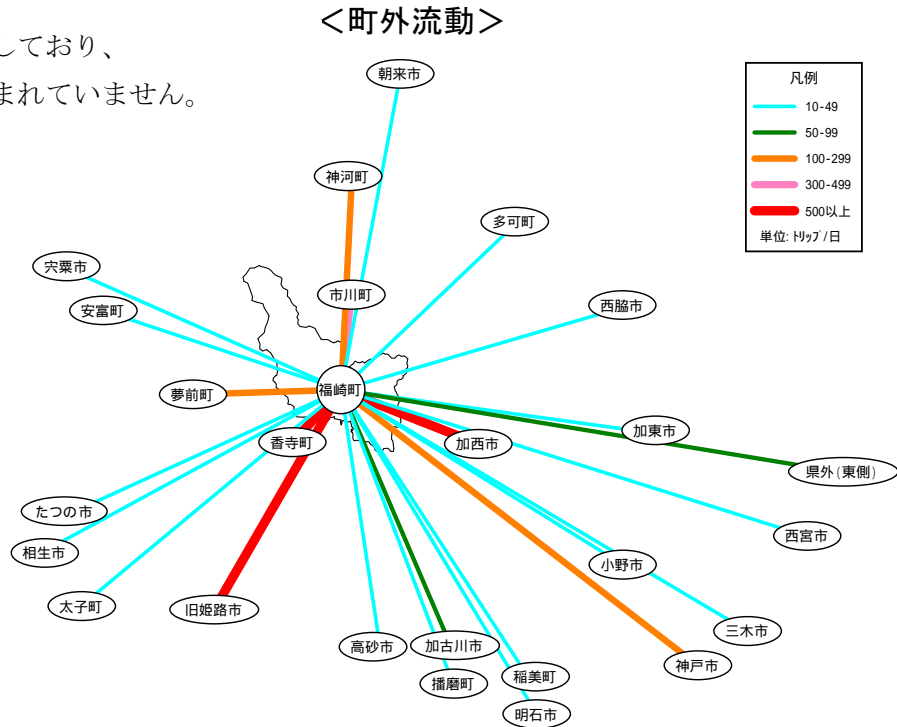
(2) 移動回数による補正

日頃よく行く場所（問2）は移動に関する設問であり、単位をトリップ（移動量）と呼びます。この移動量を1日当たりの量にするため、移動回数を用いて、頻度補正係数を設定しました。（たとえば、週に1回＝ $1/7=0.14$ となります。）

4. 福崎町民の流動

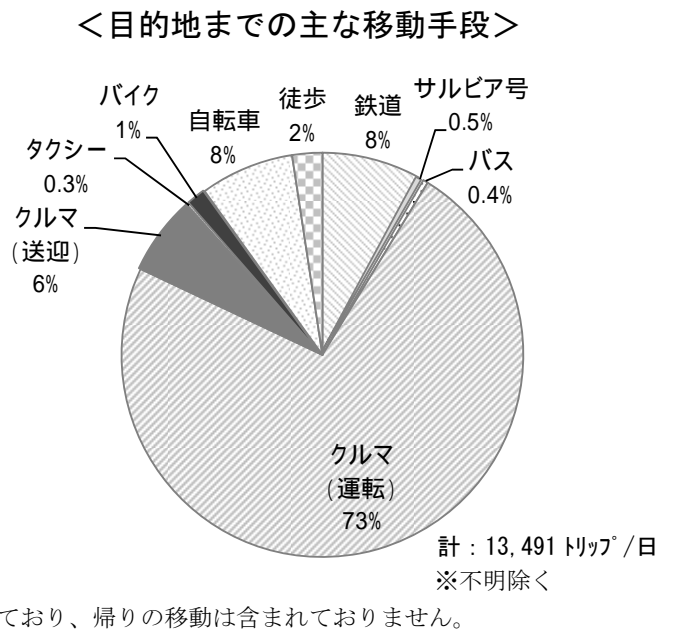
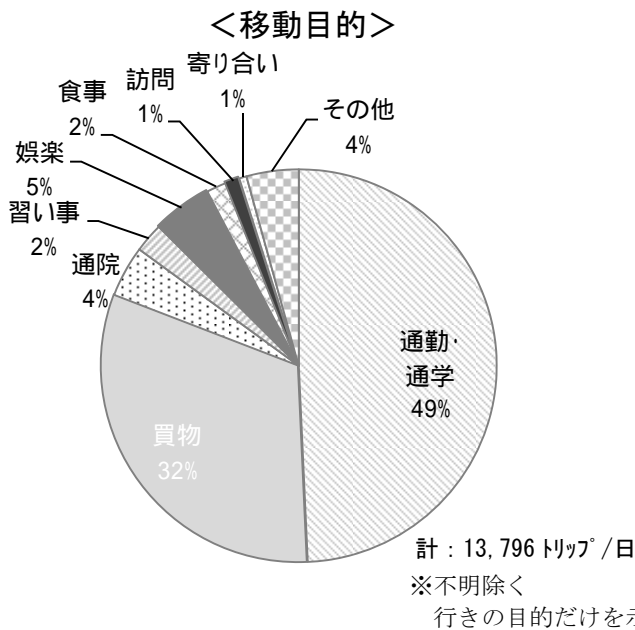
- ・ 町外への移動は旧姫路市、加西市、香寺町が多く、町内での移動は西田原、南田原、福田関連の流動が多くなっています。

※行き先だけを示しており、
帰りの移動は含まれていません。



5. 福崎町民の移動状況

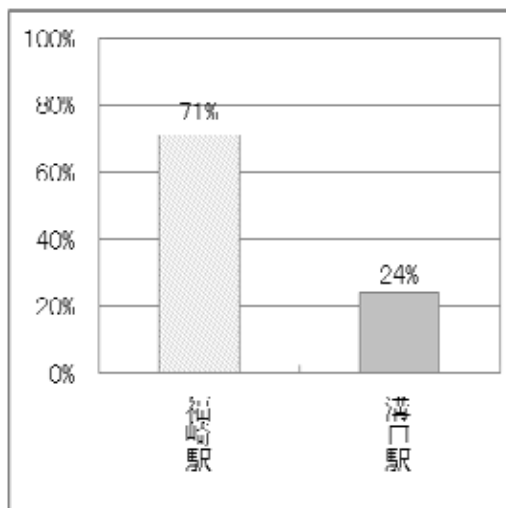
- ・福崎町民の移動目的は、通勤・通学が約5割、買い物が約3割となっており、他の目的は全て1割未満となっています。
- ・目的地までの主な交通手段は、クルマ（運転）が7割を占めており、他の交通手段は全て1割未満となっています。一方で、サルビア号は1%と少なくなっています。



行きの目的だけを示しており、帰りの移動は含まれておりません。

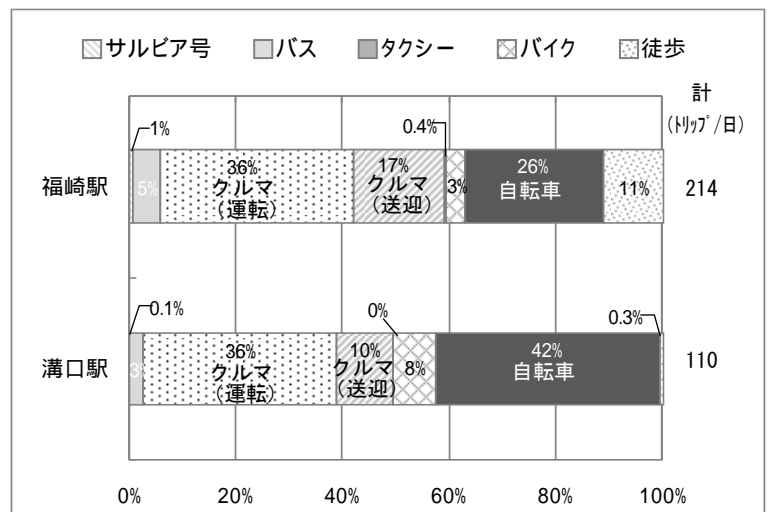
- ・鉄道利用者の利用している駅は、福崎駅が約7割を占めていますが、溝口駅も約2割の人が利用しています。
- ・福崎駅までの主な交通手段は、クルマ（運転）が約4割を占めており、クルマ（送迎）を合わせると半分以上がクルマ利用となっています。一方で、サルビア号は1%と少なくなっています。

＜鉄道利用者の利用している駅＞



※ 姫路駅 3% 新野駅 1% 香呂駅 1%

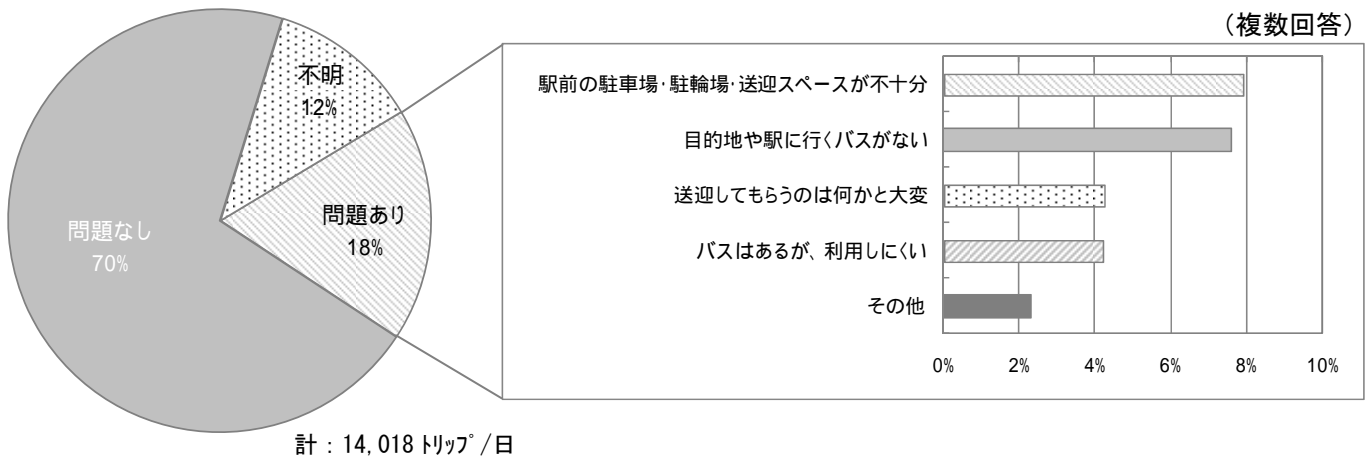
＜駅までの主な交通手段＞



※不明除く

6. 移動する時の問題点

- ・福崎町民のうち約2割は移動する時に何かしらの問題を感じており、問題点としては、「駅前の駐車場・駐輪場・送迎スペースが不十分」や「目的地や駅に行くバスがない」と回答している人が多くなっています。

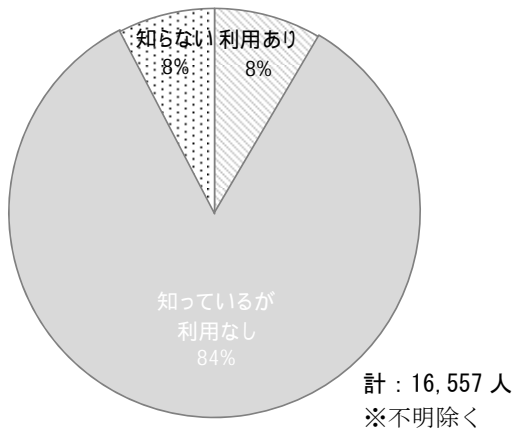


7. サルビア号の利用状況

- ・サルビア号は、9割以上の人を知っていますが、利用している人は1割未満と少なくなっています。

- ・サルビア号は全ての集落を運行するため、迂回しています。(第1回交通会議資料参照)
- ・サルビア号を利用して各地区から役場周辺までの所要時間は、自家用車と比較して約2倍～4倍かかります。

<サルビア号の利用状況>



<各地区から役場周辺までのサルビア号と自家用車の所要時間の比較>

ルート	距離		所要時間	
	サルビア号	自家用車	サルビア号	自家用車
川西A (田口 役場)	11.1km	5.5km	30分	12分
川西B (高橋 役場)	7.2km	2.8km	25分	6分
川東C (東大貫 役場)	4.6km	3.0km	8分	6分
川東D (余田新田 役場)	9.8km	2.8km	25分	6分

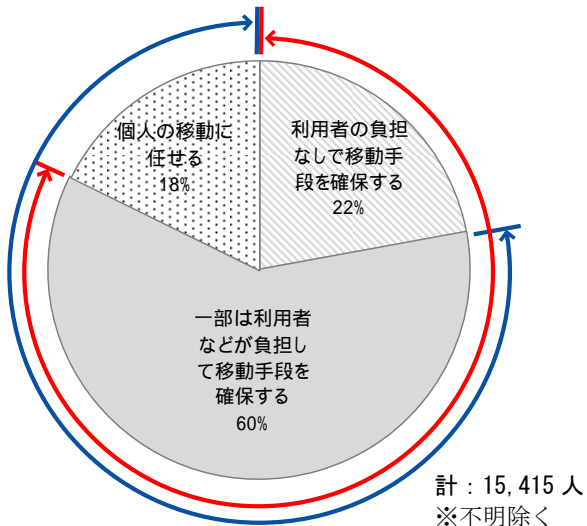
※サルビア号のルートに右回り、左回りがある場合は、短い方を見ています

サルビア号の認知度は高いが、利用が少ないのは、便数が少ないことや、集落を迂回していることも原因と考えられるため、再編の検討に向けた取り組みが必要です。

8. クルマを気軽に利用できない人の今後の移動手段確保について

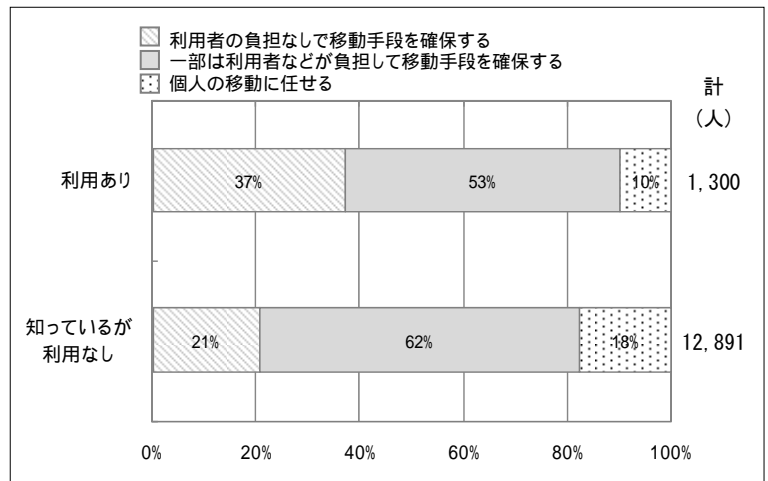
- ・今後の移動手段の確保については、「一部は利用者などが負担して移動手段を確保する（残りは町が負担）」が約6割と多くなっています。
- ・サルビア号の利用状況別、移動手段の確保については、サルビア号を利用したことがある人でも約6割が有料化を容認しています。

＜今後の移動手段の確保について＞



赤：町が関わって移動手段を確保（約8割）
青：有料化を容認（約8割）

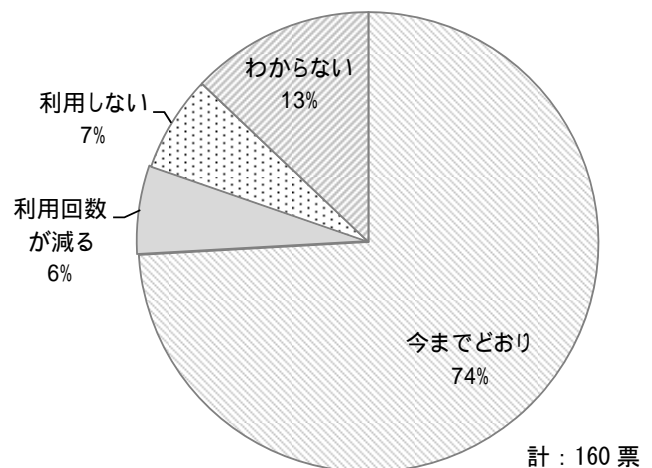
＜サルビア号の利用状況別、移動手段の確保について＞



※サルビア号を知っている人を集計対象としています。（不明除く）

＜有料（100円から200円程度）となった場合、巡回バスを利用されますか？＞

- ・サルビア号利用者に直接聞いたアンケート調査結果でも、有料でも今までどおり利用すると答えた人が約4分の3を占めています。

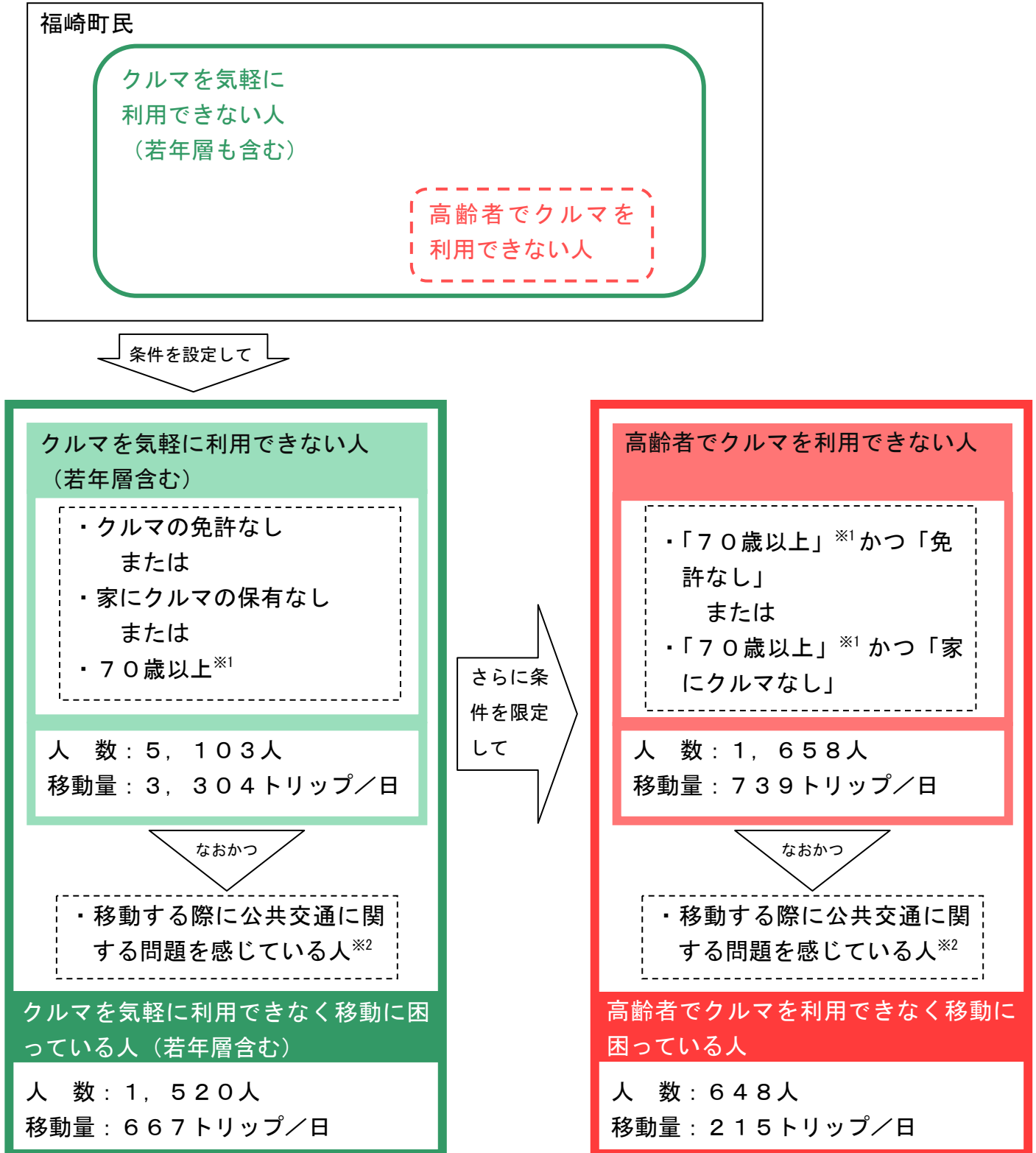


出典：サルビア号に関するアンケート
（平成19年度実施）

上記の結果から今後も町が運営主体となり、クルマを気軽に利用できない人の移動手段を確保する必要があります。また、町民の約8割、サルビア号利用者の約4分の3が有料化に肯定的な意見であることから、現在よりもサービスレベルを向上させた有料サービスへの移行も考えられます。

9. クルマを気軽に利用できない人（移動に困っている人）の抽出及び特性

(1) クルマを気軽に利用できない人（移動に困っている人）の定義及び人数
 クルマを気軽に利用できない人を以下の2つの視点で抽出しました。

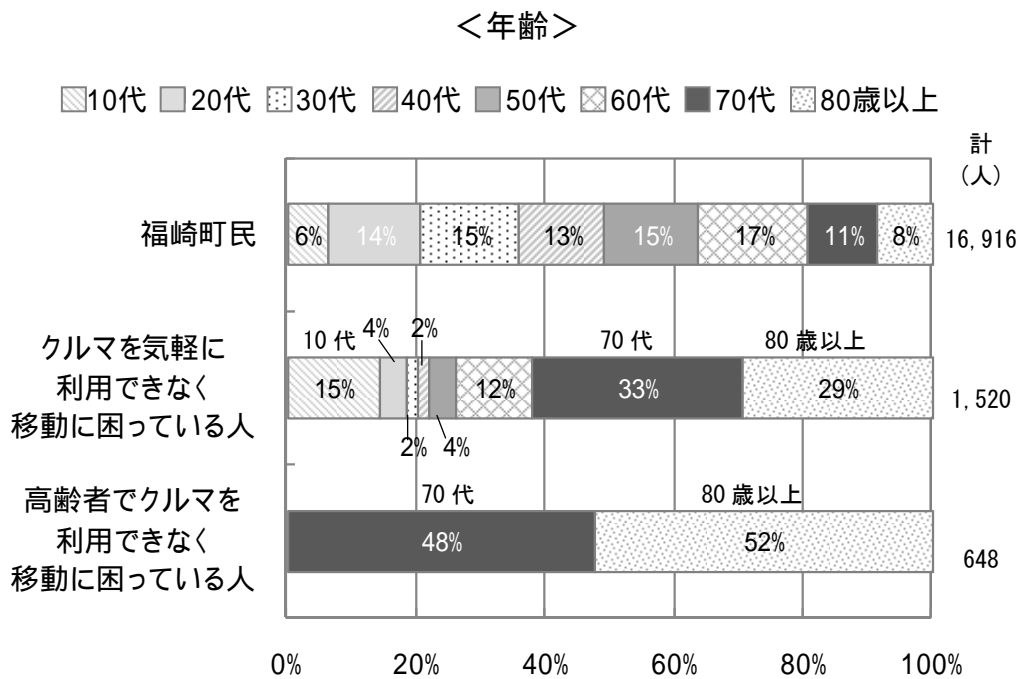
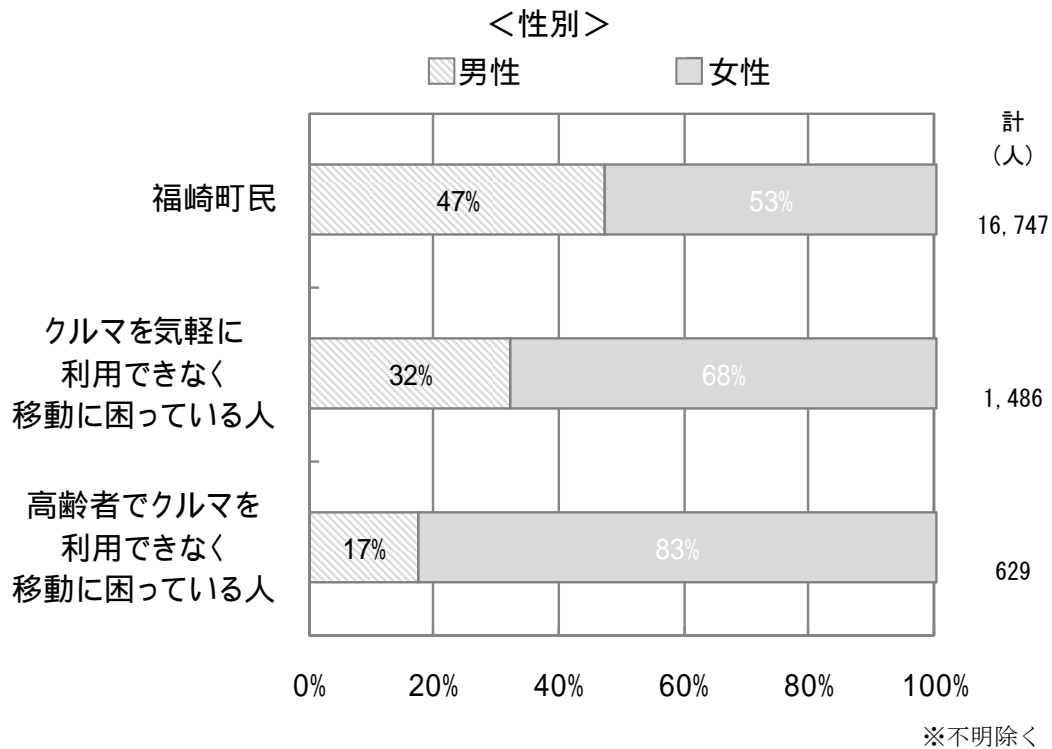


※1 自動車運転免許更新時に高齢者講習が必要

※2 「送迎してもらおうのが何かと大変（時間を合わさなければいけない、気をつかうなど）」「目的地や駅に行くバスがない」「バスはあるが利用しにくい」

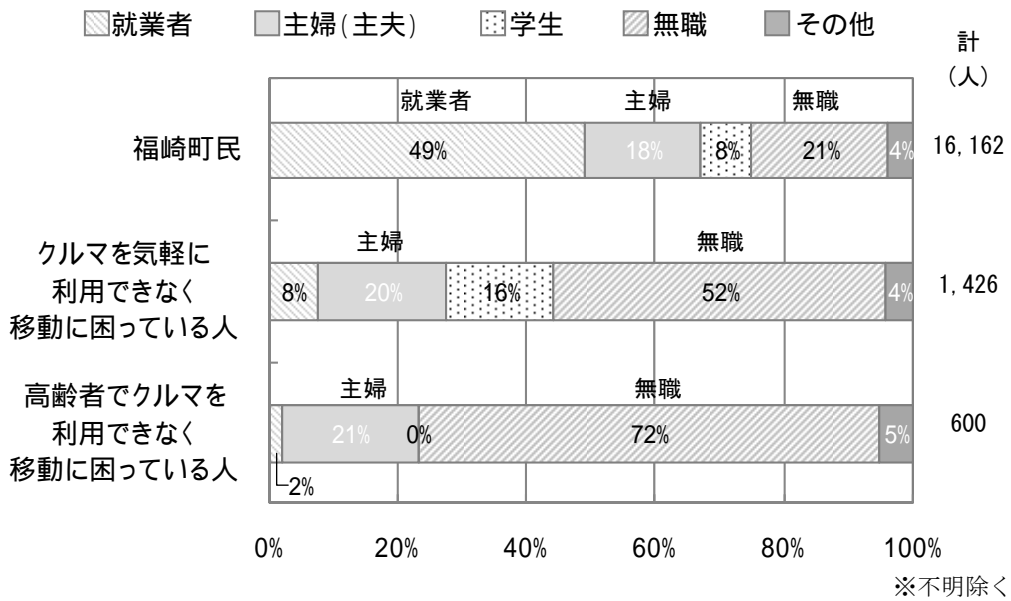
(2) 個人属性の比較

・移動に困っている人は女性の割合が高くなっており、特に高齢者でクルマを利用できなく移動に困っている人は、8割以上が女性となっています。

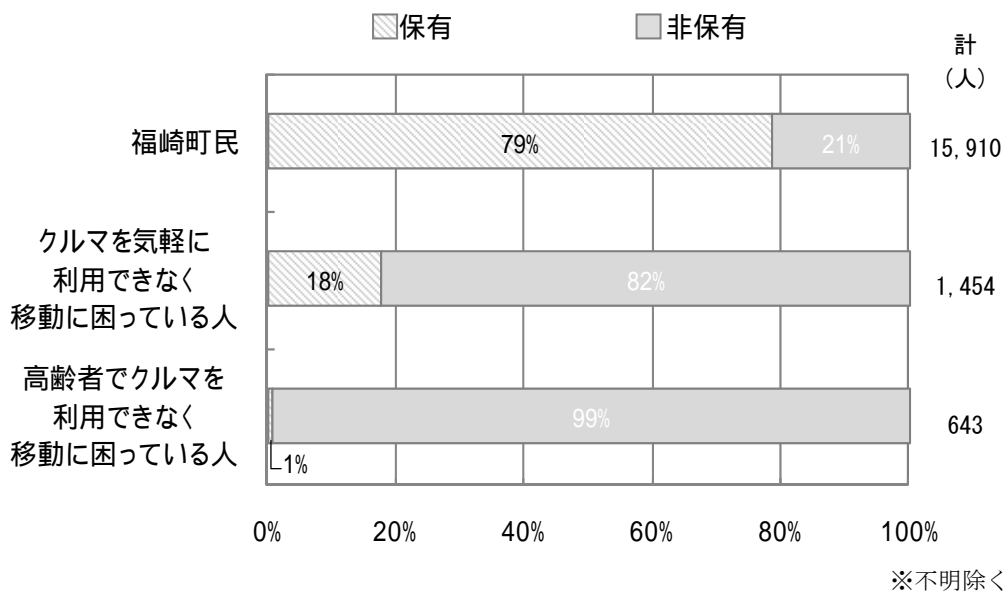


・移動に困っている人は無職・主婦の割合が高くなっています。また、若年層も含めた移動に困っている人は、学生の割合も高くなっています。

<職業>

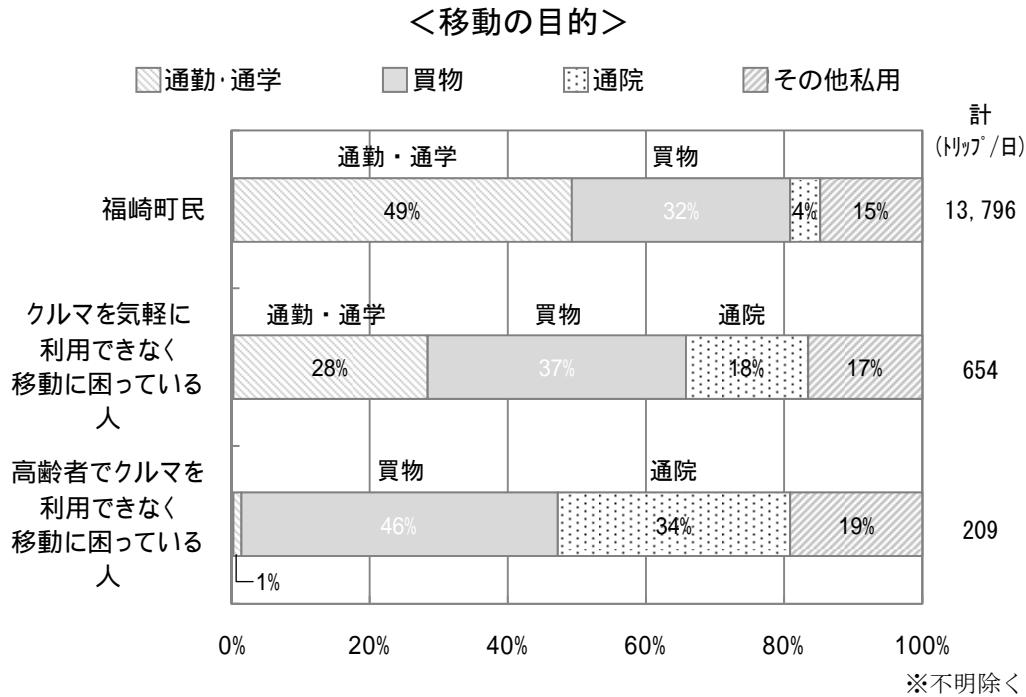


<クルマの運転免許>

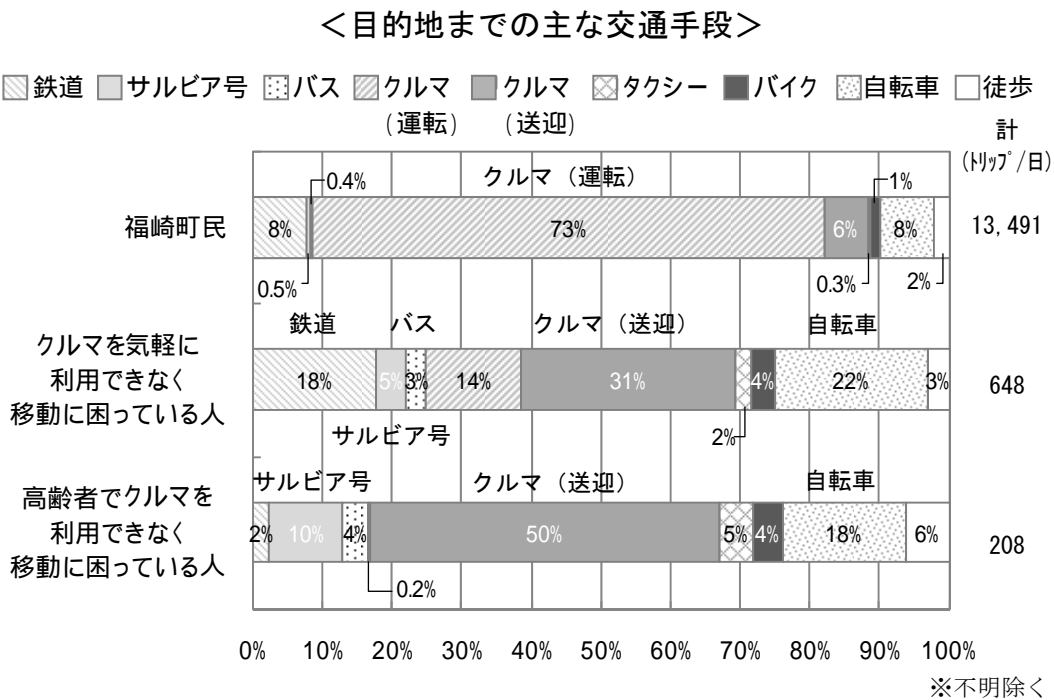


(3) 移動内容の比較

・移動に困っている人は買物・通院目的が多くなっており、高齢者でクルマを利用できなく移動に困っている人では約8割が買物・通院目的になっています。



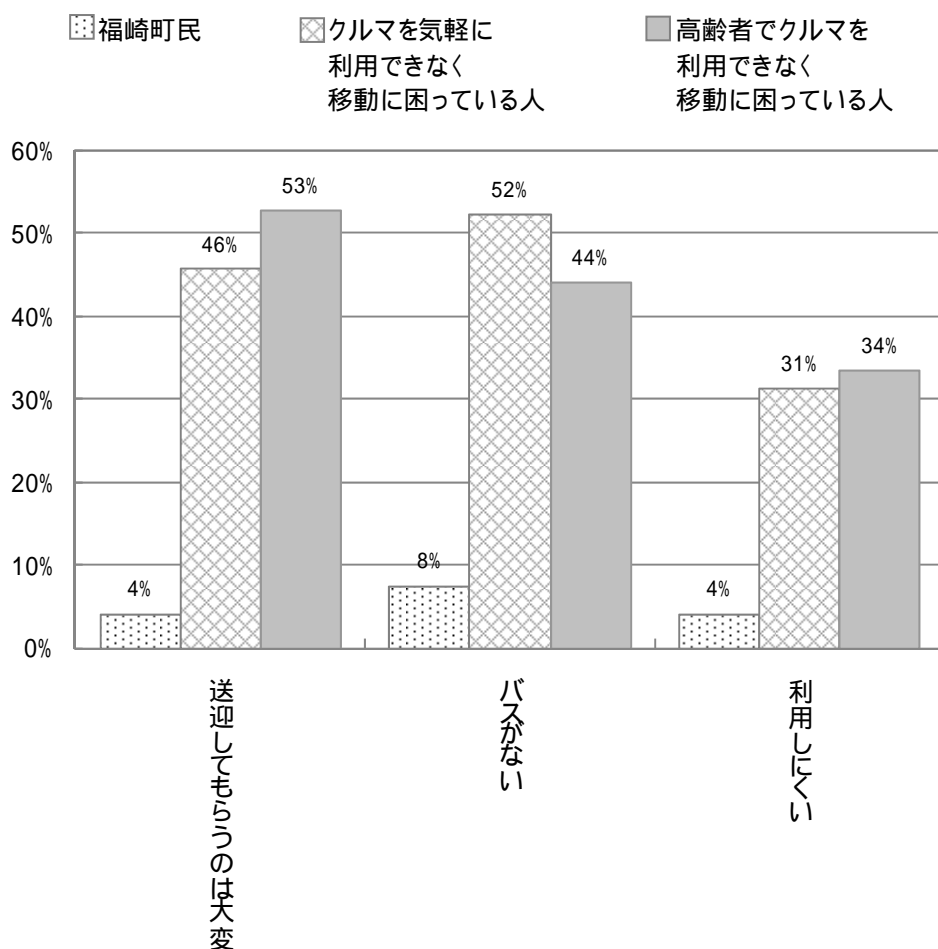
・若年層も含めた移動に困っている人は、クルマ（送迎）と鉄道、サルビア号、バスの公共交通が多くなっており、高齢者でクルマを利用できなく移動に困っている人ではクルマ（送迎）が半分を占めています。



(4) 移動する時の問題点の比較

- ・若年層も含めた移動に困っている人では半数以上が、「目的地や駅に行くバスがない」の問題点をあげています。
- ・高齢者でクルマを利用できなく移動に困っている人では半数以上が、「送迎してもらうのが何かと大変」の問題点をあげています。

<移動する時の問題点>



詳細

送迎してもらうのは大変 : 送迎してもらうのが何かと大変（時間を合わさなければいけない、気をつかうなど）

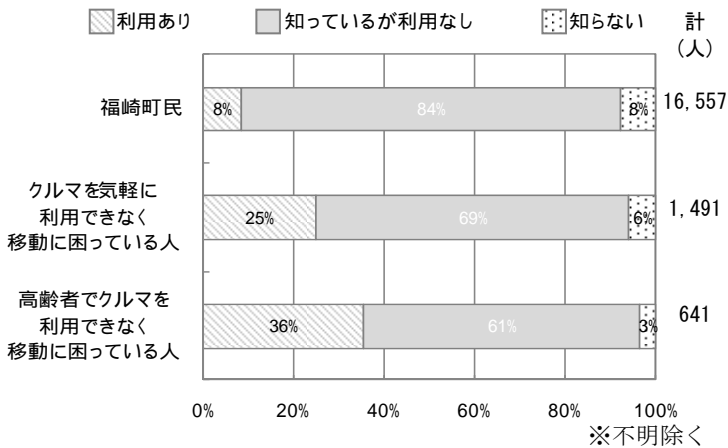
バスがない : 目的地や駅に行くバスがない

利用しにくい : バスはあるが、利用しにくい

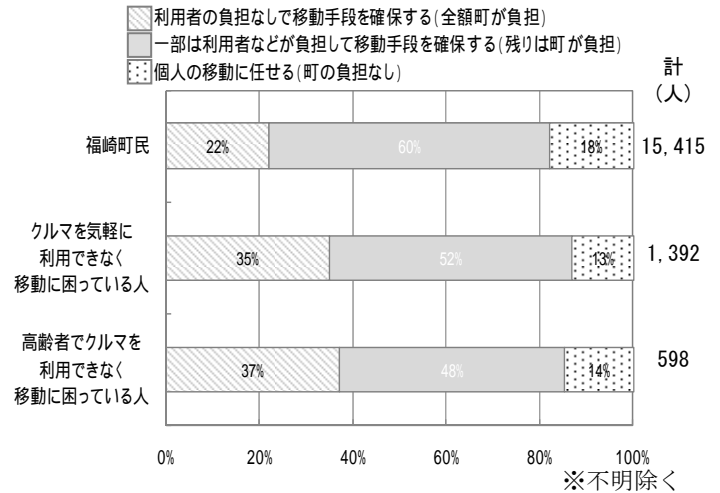
(5) サルビア号利用状況及び今後の移動手段確保についての比較

- ・クルマを気軽に利用できない人は、サルビア号を利用したことがある人が多くなっており、逆にサルビア号を知らない人が少なくなっています。
- ・クルマを気軽に利用できない人は、「利用者の負担なしで移動手段を確保する（全額町が負担）」が多くなっていますが、「一部は利用者などが負担して移動手段を確保する（残りは町が負担）」「個人の移動に任せる（町の負担なし）」で6割以上となっています。

＜サルビア号の利用状況＞

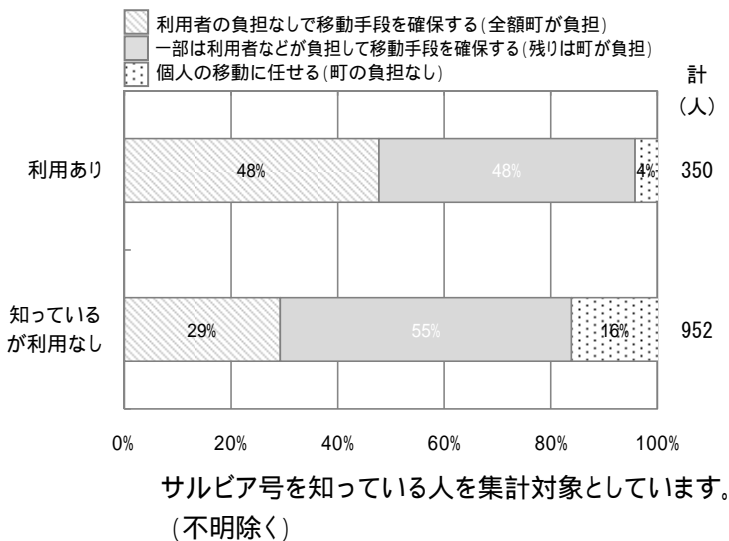


＜移動手段確保について＞

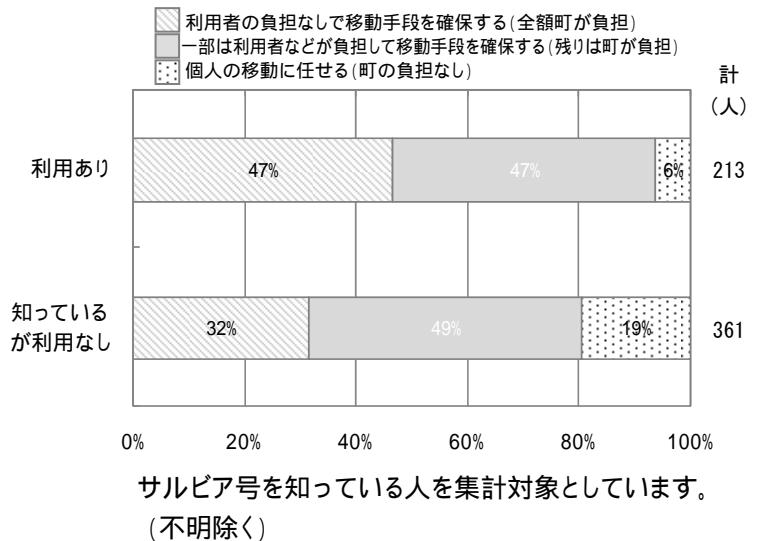


- ・移動に困っている人でサルビア号を利用したことがある人でも、「一部は利用者などが負担して移動手段を確保する（残りは町が負担）」「個人の移動に任せる（町の負担なし）」で半数以上となっています。

＜クルマを気軽に利用できなく移動に困っている人におけるサルビア号の利用状況別、今後の移動手段確保について＞



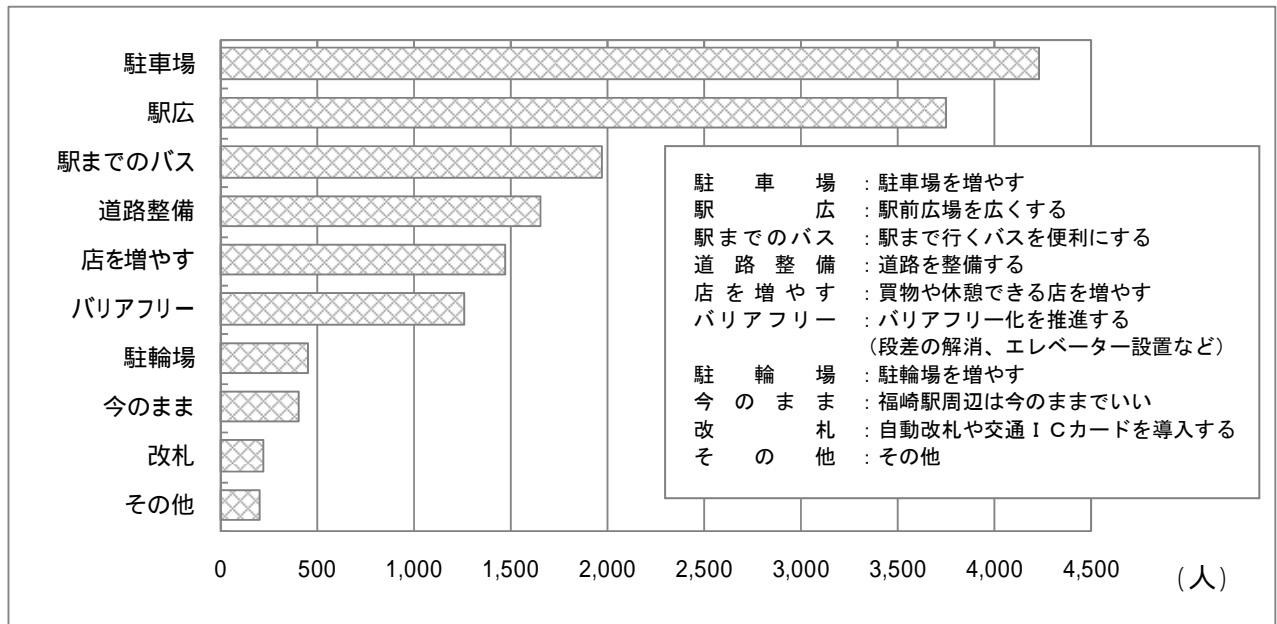
＜高齢者でクルマを利用できなく移動に困っている人におけるサルビア号の利用状況別、今後の移動手段確保について＞



10. 福崎駅を利用しやすくするために最も重要だと思うこと

- ・ 福崎駅を利用しやすくするために最も重要だと思うこととしては、「駐車場を増やす」「駅前広場を広くする」「駅まで行くバスを便利にする」の順に多くなっています。

<最も重要だと思うこと（1位）>



福崎駅利用活性化に向けて、駅前広場整備や、バス・クルマ等の乗継ぎ改善など、ハード・ソフト両面から福崎駅周辺整備を推進していくための検討が必要であると考えられます。

※福崎駅利用者アンケート調査も実施しており、別途、福崎駅周辺整備の検討を進めています。